

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」宇部鶴の鳥校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 35世帯38名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SST教材が豊富	その子の困り感や課題に合わせたソーシャルスキル教材を作成し実施している。	・皆で話し合い、より良い教材を作成する。 ・すごろくなど、遊びながらソーシャルスキルが学べるような教材を作成し実施する。
2	なるべく毎月イベントを計画し、普段できないような活動を実施している。	年齢層(発達段階)が広いため、作業工程の簡略化を行ったり、皆が楽しめるようにゲームのルールを工夫したりしている。	・子ども達がやってみたいと言った活動を取り入れたり、職員間でどんな活動だと皆が楽しめるのか話し合っ、定期的にイベントを開催していく。
3	支援室の構造化を行っている。	同じスペースに大人数が集まらないようにして、10分～20分刻みのスケジュールを個別に用意し、各スペースで広い空間が確保できるように努力している。	・公園など、外出支援を行う。 ・休日で朝から夕方までの支援の場合、利用時間帯をずらして、支援室の人数の調整を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流ができていない。	・外部の人を加えた人数の収容スペースを用意するのが難しい。	・兄弟やご家族の方といった少人数の人を招いて、活動と一緒に参加してもらう。 ・外出支援にて外部のイベント等に参加する機会を設ける。
2	体を思いっきり動かすスペースがない。	構造化を行い、スペースを区切っているため。	・イベント時などに棚を動かし、広いスペースを確保して体を動かす活動を行う。 ・公園に行ったり、体育館を借りたりし体を動かす機会を設ける。
3	支援室が2階のため、階段の上り下りが常にある。	建物の構造上の問題	体幹の弱い児童や低年齢の児童の上り下りには常に職員が付き添うようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」宇部鶴の鳥校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年12月21日 38名

回収数 35世帯38名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	11	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1		1		
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	5		4		2階にある支援室へは階段で上がらなければならない等、身体障がいの方へのバリアフリーはできておりませんが、構造化を行い、活動によってエリアを分けております。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1		2		アンケートのご回答後となってしまいましたが、HPにて公開いたしましたので、ご確認いただければ幸いです。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2		1	個人に合わせ支援を配慮していただきできないことを本人の負担なくできるように指導していただいています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	10	9	7		休日に公園へ遊びに行くことがありますが、交流はできていないため、機会を作っていけるように検討してまいります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	5	2	8		コロナ以降実施できておりませんが、今後再開できればと考えております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	31	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	3	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	10	7	11		進学に関する不安などを少しでも解消できればと、進学時期のご家庭に直接お声がけして、7月にママカフェを実施いたしました。今後も継続して実施していきたいと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2	1	6		支援室前にご意見箱を設置しておりますので、モニタリング時などに再度周知させていただければと思います。相談や申し入れがあった場合には直ぐに日程を調整し対応させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	4	2	10		会報等はありませんが、HPにてブログ更新を行っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3		4		緊急時対応や防災マニュアルは契約時に書面にて周知しております。感染症に関して、年に一度職員も含め書面にて周知しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	4	1	7		毎月1度、曜日を変えて避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	3		3		安全計画を作成しております。またヒヤリハットや事故となった事例を話し合う研修を受講するなどして、事故防止に努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1		5		トラブルや支援中に気になる様子があれば、保護者様に必ずお伝えするようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	2				いつも楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34					きりりさんを利用してからそれぞれ落ち着いたり成長が見えて、私のしんどい思いもだいぶ軽減されました。引き続きよろしくお願いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子どもサポート教室「きらり」 宇部鶴の島校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		遊び、エクササイズ、勉強などエリアを分け、利用者様全員のスケジュールをそれぞれ作成することで、同じ時間帯に同じエリアで過ごす人数を調整し、スペースを広く使えるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		6月から保育士が1名増え、低年齢の発達段階の利用者様への支援をより手厚く行うことができるようになりました。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		2階にある指導訓練室へは階段で上がらなければいけない等、身体障がいの方へのバリアフリーはできておりません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、支援後に指導訓練室や送迎車の清掃、消毒を行っております。構造化を行い、活動内容に合わせてエリアを分けております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		他の利用者様の様子が気になって勉強が難しい場合など、必要に応じて1階の個室を使用することも可能です。また気持ちを崩した際などに入れるよう、指導訓練室に個室「感情コントロールの部屋」を用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝のミーティングで支援予定の確認を、終業前の終礼にてその日の利用者様の様子を情報共有しております。他にも頻繁に会議を行い、支援についても目標や問題点、改善策等を話し合っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度実施し、ご意向を伝えていただけるようにしております。いただいたご意見は、職員全員に周知して改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝のミーティングや終業前の終礼にて、支援について確認したり意見を交換したりしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		行っておりません。今後検討したいと思っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事例研修、エリア内研修、発達支援研究所研修、虐待防止研修、感染症研修等を行い、また外部の研修に参加することを通して、必要な支援の情報を得ること努めております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		放課後等デイサービス計画に基づいて支援プログラムを作成、HPにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		支援ミーティングを頻繁に行い、利用者様一人一人の課題と目標を考えております。また事業所内相談や送迎時のフィードバックなどで保護者様からご意見をお伺いした上で、放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の支援の様子を共有に加え、支援ミーティングを行うことで、利用者様の成長や困り感を指導員と児発管で共有し、放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は職員間で共有し、計画に沿って支援が行われるようにしております。	

適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年に1回保護者様にSDQ（子どもの強さと困難さアンケート）をお願いしてアセスメントを行っております。またご家庭や学校での様子を送迎時等に確認したり、日々の終礼などで利用者様の様子を共有しております。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則った放課後等デイサービス計画を作成し、支援を提供しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日のプログラムの原案を作成し、毎朝、職員全体で話し合い、修正、決定しております。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の成長や保護者様からのご要望を伺いながら、どのような活動するのが検討しております。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせ作成しております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		伝え忘れがないよう、朝のミーティングで細かく確認しております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行ってその日の利用者様の様子を情報共有し、月に1～2回程度、支援ミーティングを行って利用者様の様子を振り返っております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録を作成し、振り返ることができるようしております。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援ミーティングにて放課後等デイサービス計画の目標到達状況などを話し合っております。半年に1度、モニタリング会議を行って計画の見直しの必要性を判断しております。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			「地域交流の機会の提供」があまりできていないため、地域と関わる機会を作りたいです。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		複数の活動の中から行いたいものを利用者様に選んでいただく「チョイス」というスケジュールを入れたり、DVDやおやつ時間に自分の好きなものを選んでいただいたりしています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管または担当指導員が必ず出席しております。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小中学校、障害福祉課、協力医療機関との連携を図りながら、支援体制を整えております。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		下校時刻表や行事予定表などを学校からいただいております。送迎時に学校から情報を得るようしております。必要に応じて、学校とも利用者様の様子を共有し合い、支援の質の向上を図っています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			児発の利用者様が少なく、要望もありませんでしたので実施できておりません。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		こちらから保護者様に提案を行いました、学校からの資料があるため大丈夫ですとのお言葉をいただきました。今後もお声がけしていきたいと思っております。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの助言をいただいております。	

関係機関や保護者と



の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園に遊びに行ったり学童さんへお迎えに行ったりすることはありますが、交流することはできておりません。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		宇部市こども支援ネットワーク協議会に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に利用者様のその日のご様子だけでなく、気になったことや保護者様の心配事等をお伺いしております。 また事業所内相談や家庭連携の機会を設け、お子様の発達の状況や課題について、保護者様と共通理解を持つよう努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		講師の先生となる方をお呼びして、7月にママカフェを実施いたしました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や内容変更時に、紙面に記載した内容をご説明し、お渡しさせていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画の原案を作成後、モニタリング会議を行って本当に適した目標設定となっているか確認し、本計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後等デイサービス計画の内容を説明し、同意をいただいております。同意をいただいた計画書はファイリング、保管しております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		会議時、送迎時、お電話等、また事業所内相談や家庭連携の際にご相談いただき、ご助言や支援をさせていただいております。職員間での情報共有もしております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		進学に関する不安などを少しでも解消できればと、7月にママカフェを実施いたしました。	より多くの方に参加していただけるよう、開催日程を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合には、すぐに改善案を検討、実施しております。またご意見くださった保護者様に、改善内容をお伝えしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会報ではなくHPIにてブログ更新を行っております。またイベントを行う際は、チラシを作成するなどしてご連絡しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は、鍵付きの書庫に保管しております。破棄する際には、必ずシュレッダーをかけております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭説明だけでなく、文章やイラストでも伝えております。意思疎通や情報伝達も個別化しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域の方を招待することはできておりませんが、ごきょうだいの方を招待したり保護者様に支援に入っていただいたりと、身近な方から招待していければと考えております。
非 常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応や防災マニュアルは契約時に書面にて周知しております。感染症に関して、年に一度職員も含め書面にて周知しております。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、曜日を交えて避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に情報共有をいただき、てんかん発作が起きた際にすぐ対応できるよう、ワークフローを作成しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		医師からの指示書はありませんが、保護者様からの情報提供にて、アレルギーについて職員間で周知を行っております。	

… 時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しております。またヒヤリハットや事故となった事例を話し合う研修を受講するなどして、事故防止に努めております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		トラブルや支援中に気になる様子があれば、保護者様に必ずお伝えするようにしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、同じことが起こらないよう対応策を職員全体で共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社で虐待防止・身体拘束等適正化委員会を設置し、毎月、様々な事例を想定して研修を行っております。また議事録を職員間で共有、その後保管しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		ご利用者様に危険が及ぶのを防ぐために身体拘束を行うことがあると同意書をいただいております。	